

海洋情報部創立 150 年記念号の刊行に当たって

海上保安庁海洋情報部長 加藤 幸弘

海上保安庁海洋情報部は、明治 4 年（1871 年）9 月 12 日に兵部省海軍部水路局として設立後、令和 3 年（2021 年）に創立 150 周年を迎えることとなりました。この度、これを記念して海洋情報部研究報告第 59 号を「150 周年記念号」として刊行することとしました。

創立当初の海洋情報（水路）業務は、国防・海運・通商の観点からの海図の刊行が主でしたが、その後、時代の変化とともに海洋権益の確保、環境保全・防災や国際協力に係る業務等、拡大かつ多様化しています。本記念号では、これらの海洋情報業務におけるこの 10 年及び最新の成果等を紹介した 12 本の総説を主体とする構成としました。

海洋情報部においては、令和 2 年 1 月以来、測量船「平洋」、 「光洋」、測量機「あおばずく」が次々と就役し、これらを用いた海洋権益を確保するための調査を開始しました。また、海洋情報の利用を促進させるツールである「海しる」については、掲載情報量の増大、機能の強化を通じ、海のデータ連携の強化を実現させていきます。なお、これらの取り組みに対応できるよう、令和 2 年 4 月に組織の抜本的な見直しを行っています。今後、これらの組織・体制を余すところなく活用できるよう、さらなる研究成果の発展・発信に努めてまいりますので、これまで以上のご指導・ご鞭撻を頂けますよう、よろしくお願いたします。

（令和 3 年 3 月）

